

労働政策フォーラム

地方の若者の働き方とキャリアを考える

——ジェンダー、産業構造、教育、そして「地方女子」——

若者は、地域に残るのか、離れるのか。どのような進路や働き方を選び、キャリアを築きうるのか。こうした選択は、本人の希望や努力、能力の問題として語られがちでした。しかし実際には、地域の産業構造や限られた雇用・教育機会へのアクセスの差、さらにはジェンダー規範や家族役割への期待などが大きく関わっています。なかでも地方で暮らす若い女性は、進学、就職、結婚、ケア責任といった複数の課題のなかで、特有の制約や葛藤に直面しやすくなっています。

本フォーラムでは、JILPT「若者のワークスタイル調査」などの調査研究に加え、各地の研究機関・大学・地方議会から登壇者をむかえ、労働・教育・家族・地域という多角的な視点から議論します。若者の就業問題を個人の選択や努力に帰するのではなく、地域社会のあり方や制度に関わる構造的課題として見つめ直し、今後の教育・雇用・地域政策に何ができるのかを考える手がかりを共有します。

第1部 オンデマンド配信

2026年11月6日 金 ▶ 11月13日 金

* 録画動画 (約100分) を期間内にご視聴

研究報告 ● 地方移住／移住政策の過去・現在・未来

伊藤 将人 国際大学グローバル・コミュニケーションセンター 主任研究員

● データからみる地方の若者のキャリア形成

—地方版「若者のワークスタイル調査」から—

小黑 恵 労働政策研究・研修機構 研究員

● 若者が地元に住むということ——学歴とジェンダーに注目して

中島 ゆり 長崎大学 教育開発推進機構／多文化社会学研究科 准教授

報告 ● 『行ったら戻らない』を超えて

——中長期の関係性維持と広域コミュニティで描く新しい地方キャリア

木村 聡 岩手県陸前高田市議会議員

第2部 ライブ配信

2026年11月13日 金 15:00 ▶ 17:30

パネルディスカッション 「地方の若者の働き方とキャリアを考える」

パネリスト 伊藤 将人 国際大学 グローバル・コミュニケーションセンター 主任研究員

木村 聡 岩手県陸前高田市議会議員

中島 ゆり 長崎大学 教育開発推進機構／多文化社会学研究科 准教授

羽渕 一代 弘前大学 人文社会科学部 教授

小黑 恵 労働政策研究・研修機構 研究員

コーディネーター 堀 有喜衣 労働政策研究・研修機構 統括研究員

都合によりプログラムの内容が変更になる場合があります

主催：独立行政法人 労働政策研究・研修機構 (JILPT)

【お問合せ先】労働政策フォーラム事務局 <https://www.jil.go.jp/c/forum>

お申込みはウェブから

www.jil.go.jp/event/